



# [財]日本太鼓連盟

## NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2009年4月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

財団法人日本太鼓連盟 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:http://www.nippon-taiko.or.jp Email:info@nippon-taiko.or.jp

### 会報

## 初の内閣総理大臣賞に輝いたのは太鼓研修センター「響」!!

### ～第11回日本太鼓ジュニアコンクール～



(選手宣誓)

3月22日(日)、(財)日本太鼓連盟主催、静岡県支部主管により第11回日本太鼓ジュニアコンクールを静岡県浜松市のアクトシティ浜松大ホールにおいて開催いたしました。今大会より下付された内閣総理大臣賞と、総務大臣賞、文部科学大臣賞を目指して全国32都道府県(予選実施30支部331チーム3,774名、支部推薦等4チーム)から選抜された42チーム503名(最年少6歳)が出場しました。

開会式は、優勝旗を持った前年度優勝チーム橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎)と特別出演のブラジルチーム・ジャーレス轟太鼓を中央に、全チームが整列して行われました。国歌斉唱に続き、(財)日本太鼓連盟松本会長、塩谷文部科学大臣、静岡県知事代理の下山文化学術局長、鈴木浜松市長、寺田静岡県支部長が挨拶。そして、橘太鼓「響座」ジュニアより優勝旗並びに優勝杯が返還され、優勝杯レプリカと長胴太鼓一鼓(1尺6寸)が贈呈されました。

続いて抽選で出演順1番目となった島根県代表の掛合太鼓ジュニアの早水萌さんが、力強い選手宣誓を行い、次いで当財団長谷川副会長による初っ切り太鼓が演奏されコンクールが始まりました。出場42チームは、大会要領に基づき故小口副会長作曲による課題曲「日本のひびき21」と自由曲を5分以内で演奏しました。2,300席の会場は満席となり、各団体の演奏が終わる度、各チームの頑張りに対して心からの拍手と声援が送られました。

42チームの演奏の後、第5回全ブラジル太鼓選手権大会での優勝チーム・ジャーレス轟太鼓と前回優勝した橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎)が演奏を披露し全ての演奏が終了しました。閉会式では、渡辺審査員、塩見審査委員長より講評の後、審査結果が発表され、太鼓研修センター「響」(宮崎)が栄えある初の内閣総理大臣賞に輝きました。

優勝が発表された瞬間、張り詰めた空気から一転、会場から歓声が沸き起こりました。太鼓研修センター「響」は、8歳から14歳までのメンバー15名で構成されたチームで、2年前に結成した後、練習を毎日積み重ね、見事初優勝に輝きました。また、第5回の優勝チーム信濃国松川響岳太鼓子供会(長野)が準優勝として総務大臣賞を受賞、第3位の輪島・和太鼓虎之介(石川)が文部科学大臣賞を受賞いたしました。

出場全チームがこれまでの練習の成果を力一杯発揮し、共に競い合った一日でした。今回の大会を通じて多くのことを学び、今後の活動に活かしていくことを確信しております。

最後に、長時間に渡り厳正な審査をして頂いた審査員、技術委員の先生方、特別出演の橘太鼓「響座」ジュニア、ジャーレス轟太鼓の方々、朝早くから全国より応援に来て頂いた父兄並びにご来場の皆様、そして本コンクールの開催にご協力いただきました200名にも及ぶ静岡県支部スタッフ・ボランティアの皆様にご心より感謝とお礼を申し上げます。

#### 審査委員

池田 庄作(財団副会長)  
 岡田 知之(洗足学園音楽大学名誉教授)  
 塩見 和子(審査委員長・財団理事長)  
 西角井正大(日本大学大学院講師)  
 古屋 邦夫(財団技術委員会委員長)  
 渡辺 貞夫(音楽家) (五十音順・敬称略)



(優勝した太鼓研修センター「響」)

#### 第12回大会は、埼玉県さいたま市で開催!

次回第12回日本太鼓ジュニアコンクールは、来年2010年3月21日(日)、埼玉県さいたま市「大宮ソニックシティ」にて開催いたします。

## 入賞チーム

優勝・内閣総理大臣賞

準優勝・総務大臣賞・静岡県知事賞・静岡県太鼓連盟会長賞

第3位・文部科学大臣賞

第4位

第5位

太鼓研修センター「響」(宮崎)

信濃国松川響岳太鼓子供会(長野)

輪島・和太鼓 虎之介(石川)

岩代國郡山うねめ太鼓保存会 小若組(福島)

おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎)

## 特別賞

静岡県議会議長賞

九谷太鼓 若獅子組(石川)

静岡県教育委員会教育長賞

天城連峰太鼓(静岡)

浜松市長賞

熊本市立必由館高等学校 和太鼓部(熊本)

浜松市教育委員会教育長賞

ZENKA I 少年太鼓「和」(大分)

NHK静岡放送局賞

手取亢龍若鮎組(石川)

静岡新聞社・静岡放送賞

華太鼓かんなの会「ふじ組」(宮崎)

財団法人浜松市文化振興財団賞

人吉ねぶか太鼓(熊本)

浜松商工会議所賞

山川ツマベニ少年太鼓(鹿児島)

株式会社浅野太鼓楽器店賞

邦楽アカデミー和太鼓大元組ジュニア(東京)

名鉄観光静岡支店賞

下関平家太鼓保存会 勝山会(山口)

ブラジル太鼓協会賞

秦野観光和太鼓(神奈川)

日本太鼓連盟特別賞

ジャーレス轟太鼓(ブラジル)

## \*太鼓研修センター「響」(宮崎)から感想文をいただきましたので掲載いたします。

### 「第11回日本太鼓ジュニアコンクールを終えて…」

太鼓研修センター「響」 指導員 酒井 優

昨年の石川大会から一年。新たに選抜された子供達は15名。演奏技術、練習に取り組む姿勢など全てにおいて未熟な者達ばかり。この子供達をどう導いてゆけばよいのか思い悩む毎日。基本を中心に技術を磨き、太鼓打ちとしての心構えなど徹底的に鍛えました。学校と太鼓の両立、やりたい事を犠牲にして道場にやってくる子供達の顔はいつも疲れきっていました。中には片道一時間以上かけて来る子もいました。好きで始めた太鼓とはいえ、想像以上の厳しさだったと思います。しかし、誰一人欠ける事無く、全国大会のステージに立つことができました。練習でやってきた事のすべてを出し尽くし、演奏を終えた子供達の中には泣き崩れる者もいました。大人でさえ押し潰されそうなプレッシャーの中、力の限り声を出し、力の限り太鼓を打ち鳴らしてくれた子供達の姿が私には輝いて見えました。優勝を目標にしていたのですが、まさか頂けるとは夢の様でした。全国大会があったからこそみんなここまでやったのだと思います。運営して頂いた(財)日本太鼓連盟のみなさんをはじめ、静岡県連スタッフの方々、お世話になりました。保護者の方々、御苦労さまでした。この場をお借りしまして関係者すべての方にお礼を申し上げます。有難う御座いました。

### 「優勝への道」 船ヶ山 京介(リーダー・中学2年)

第11回日本太鼓ジュニアコンクールで見事優勝する事ができました。僕たちが優勝できたのも、岩切先生と酒井先生の日本一厳しい指導のお陰だと感謝しています。僕達のチームは、大会に出場した15名とあと4名の仲間とで一緒に頑張って練習してきました。今回出場できなかったみんなの分も絶対に頑張ろうと思いました。僕は一週間前になって両手にマメができてしまい、痛くて力が入らず悔しい思いをしました。前日のリハーサルで舞台に立った時は、吐きそうなくらい緊張しました。でも、大会当日は一生分の声を出して挨拶をし、今まで先生から注意された事を思い出しながら叩きました。やっぱり吐きそうなくらい緊張しました。叩いた後、チームのみんなが笑顔でいたので悔いはありませんでした。結果発表の瞬間は、優勝と言われたのが信じられなくてプラカードを持ったまま左右を見てなかなか立ち上がる事ができませんでした。最高に嬉しかったです。これからも、日本一厳しい練習をして頑張りたいと思います。最後に、先生方、響座ジュニアのメンバー、両親、僕達を支えてくれたみなさん本当に有難うございました。

### 「全国大会を終えて」 津郷 良執(小学4年)

僕が太鼓を始めたきっかけは、保育園で太鼓教室があって楽しかったからです。太鼓研修センターに

入ってどんどん楽しくなり、チームに入るのが夢でした。たくさん練習してチームに選ばれ、今までよりも練習が厳しくなりました。県大会で準優勝して全国大会に出場できる様になり、僕の夢は全国大会で優勝する事へと変わりました。いよいよ出番がきて、課題曲・自由曲を気持ちよく叩くことができました。審査発表の時間がきて、僕たちが優勝でした。すごく嬉しくて涙が止まりませんでした。僕はやっぱり太鼓が一番好きです。これからも一生懸命太鼓を叩きたいと思います。



(優勝時の演奏)

## ＜大会翌日に特別講習会を開催＞

大会翌日の23日(月)、コンクール出場団体の更なる技術向上を目指して特別講習会が行われました。古屋邦夫技術委員長と渡辺洋一技術委員の指導により、熊本市立必由館高等学校和太鼓部(熊本)、ジャーレス轟太鼓(ブラジル)に加え、コンクール出場団体ではありませんが赤石太鼓保存会(静岡)の皆さんが参加しました。

その中で、必由館高等学校和太鼓部よりご寄稿いただきましたので一部ご紹介いたします。

### 必由館高等学校和太鼓部

丸山はるか

今回、全国大会を終え、全国のレベルの高さに圧倒されました。その中で、私たちは頑張ったけど、特別賞しかとれませんでした。でも、あのレベルの中で賞をとれたことは素晴らしいことだし、いい結果だったと思います。だから、九州大会を終え、他のチームがどんどんうまくなったということは、私たちももっともっと上を目指せることだと思います。講習会では、音の大きさと撥の振りについて学びました。今までも、自分なりに小さい音から大きい音への段階みたいなものを考えていたつもりだったけど、先生の音をきいて、それだけですごいなあと思いました。やっぱり基礎をしっかりしないとこれ以上うまくなれないので頑張ろうと思いました。だから、これからは、基礎打ちの時から、気をつけていきたいと思います。そして、毎日の積み重ねが大事だから、今を一生懸命やろうと思いました。

### 必由館高等学校和太鼓部

上杉充代

講習会を受けて、自分の知らなかったことをたくさん教えていただき、新しい発見や改善点など多くを学びました。一番驚いたのは、太鼓には8段階の打ち方があったことです。教わる前は「力の加減かなあ」とか「腕の高さ」と思っていました。しかし、想像していたものとは全く違い、小さな音から大きな音までの出し方があり、改めて自分の打ち方を見直す機会にもなりました。1時間という短い時間だったので曲のことしか聞けませんでした。もっと時間があれば基礎打ちから詳しく教えてもらいたかったです。また大太鼓の叩き方や音の響かせ方にもおどろきました。少し打法を変えるだけで音・迫力があんなに変わるとは思いませんでした。次の大会にむけて、すえおきの太鼓の打ち方や三宅太鼓の打ち方にもっと工夫を加えてみようと思います。また機会があったらもっと色々なことを教えてください。

## 日伯交流 —ブラジル太鼓チーム招請—

第11回ジュニアコンクールには、5回目となるブラジルチームが出場しました。昨年7月に行われた「第5回全ブラジル太鼓選手権大会」のジュニア部門(12団体、182名参加)で優勝したジャーレス轟太鼓の13歳から17歳の男女13名と、引率5名の総勢18名が来日しました。

地球の反対側からの可愛い訪問者たちが、今大会で演奏した「幸せ」はメンバーが相談しながら作曲したものです。また、今回初めてブラジルチームも課題曲の演奏を行い、日本のジュニアチームに匹敵する見事な演奏を披露しました。メンバーたちは日本のジュニアチームのレベルの高い演奏を目の当た

りにして、とても良い勉強となり、今回受けた刺激を今後活かしていきたいと意欲を示していました。

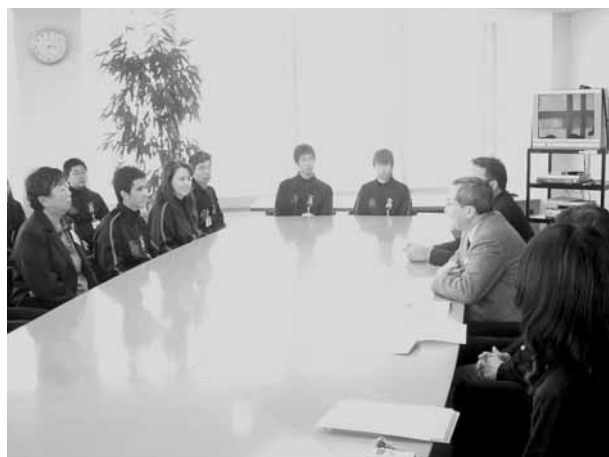
大会翌日は特別講習会に参加し、渡辺洋一氏から久しぶりの指導を受けることができ喜んでいました。

3月24日(火)に浜松市のブラジル学校「エスコラ・アレグリア・デ・サベール」で、生徒約200人を前に演奏を楽しんでもらいました。25日(水)には富士市の「エスコラ・フジ」で約100人を前に演奏し、熱狂的な歓迎を受け、大成功で公演を終えメンバーたちもほっとしていました。

東京に向かうバスの車窓では見事な富士山を見ることができ、感激して写真を撮影していました。

東京では、お台場の「船の科学館」を見学した後、日本財団を表敬訪問し、尾形理事長、三浦常務よりねぎらいと励ましのお言葉をいただきました。日本の印象などを聞かれ、緊張しながらも一生懸命に答えていました。

今回は残念ながら日本語を話せるメンバーが少なく、次の来日の時までには日本語をもっと勉強してくると反省していました。折しも桜が咲き始め、「太鼓演奏はもちろんのこと、富士山や雪、桜に触れるなど素晴らしい体験をし、一生忘れない良い思い出となった。皆様に感謝したい。学んだことを活かして、これからもがんばって太鼓を続けていきたい。」と張り切って帰国しました。



(日本財団を表敬訪問するジャーレス轟太鼓)

## 各地で太鼓講習会を開催！

～技術の向上を目指して台湾や各地から参加～

### <第34回日本太鼓全国講習会(佐賀県)>

2月7・8日(土日)、第34回目の日本太鼓全国講習会を、佐賀県総合体育館にて実施いたしました。九州をはじめ、全国16府県と台湾からの参加を含めた総勢219名が受講しました。

開会式では財団を代表して塩見理事長、全九州太鼓連合から長谷川会長、地元佐賀県の藤木県会議員、中島県私学文化課長より挨拶がありました。

寒さ厳しい中、受講生たちは元気にバチを振っていました。

#### ○専門講座 講師

大太鼓講座 渡辺 洋一氏  
助六太鼓講座 今泉 豊氏  
源流太鼓講座 長谷川 義氏

#### ○基本講座 講師

総合指導 古屋 邦夫氏  
3級基本講座 安江 信寿氏  
4級基本講座 若山 雷門氏  
5級基本講座 松枝 明美氏



(閉会式で挨拶をする御厨支部長)

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

1級検定	11名受験	2名認定(8名合格)
2級検定	33名受験	9名認定(27名合格)
3級検定	34名受験	34名合格
4級検定	35名受験	35名合格
5級検定	74名受験	74名合格

### <第43回日本太鼓支部講習会(東京都)>

3月14・15日(土日)、東京都支部主催による支部講習会が日本財団ビル(港区)で行われ、3・4・5級基本講座に地元東京都をはじめ、福島、長野県等から75名が参加しました。初日は塩見理事長も駆けつけ受講生達を激励されました。また、日本財団の関連団体関係者で構成された太鼓クラブ、和太鼓水心会のメンバーからも参加がありました。日本財団ビル全体が太鼓の熱気に包まれた2日間でした。

#### ○基本講座 講師

総合指導 古屋 邦夫氏  
3級基本講座 安江 信寿氏  
4級基本講座 渡辺徳太郎氏  
5級基本講座 松枝 明美氏



(5級基本講座の様子)

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

3級検定	10名受験	10名合格
4級検定	28名受験	28名合格
5級検定	37名受験	37名合格

## 日本太鼓が各地で活躍！

### ～親子いきいきランド～

昨年12月7日(日)、関連団体である(財)日本ゲートボール連合主催の親子交流プログラム「親子いきいきランド」が富山県富山市の屋内ゲートボール場すば一く富山にて開催され、約40名の親子を前に、富山県支部の越中いさみ太鼓保存会が演奏しました。演奏後には、参加した子供達に実際に太鼓を体験してもらう時間を設け、その響きを感じてもらいました。親子のふれあいに貢献できたことを嬉しく思います。



(子供たちに太鼓を教える  
越中いさみ太鼓保存会)

### ～競艇優秀選手表彰式典～

3月15日(日)、ホテル日航大阪において、昨年顕著な活躍をした競艇選手を表彰する「平成20年度優秀選手表彰式典」(主催:日本モーターボート競走会)が行われました。主催者より当財団に要請を受け、金光藤蔭高等学校和太鼓部「鼓響」(大阪)が、蔭山競走会長にもお褒めのお言葉をいただく元気一杯の演奏を披露し、競艇ファンを含めた約600名の出席者から盛大な拍手が送られ、式典に華を添えました。



(金光藤蔭高等学校  
和太鼓部「鼓響」)

### 「和太鼓 水心会」大田区の舞台で活躍！

4月5日(日)に『studio邦楽アカデミー』主催の和太鼓発表会【響奏和音VI】が大田区民センターで行われ、日本財団の関連団体関係者による太鼓クラブ、和太鼓水心会の有志が出場しました。

2歳から80歳の生徒さんが混じっての、クラス毎の和太鼓演奏会です。アカデミーオリジナルの半被をまとった、和太鼓水心会は、昨年から習っている「篝火」を8名のメンバーで演奏しました。

本格的な衣装を着ての舞台演奏は始めてでしたが、見事に舞台デビューを果たし、メンバーはより一層太鼓に魅了されたようです。



(和太鼓水心会の勇姿)

### 成田太鼓祭に参加 ～全国太鼓情報発信基地に多くのお客様～

4月11・12日(土日)、千葉県成田市において例年20万人もの人が訪れる「成田太鼓祭」が開催されました。

今年も千葉県支部、千葉県太鼓連盟主催、当財団の共催により「全国太鼓情報発信基地」のブースを設置し太鼓を広く紹介しました。情報発信基地では、パネルを展示したほか、浅野太鼓のご協力を得て3.3尺の大太鼓をお客様に実際に叩いてもらうコーナーを設け、多くの方が太鼓に親しまれました。特に外国人やお子さんが多くいらっしゃいました。

暖かい春の日差しに包まれながらの太鼓見物はすっかりこの地に定着したようです。



(全国太鼓情報発信基地)

# 台湾日本太鼓公演

ゆふいん源流太鼓より感想を寄稿していただきましたのでご紹介します。



(高雄で演奏する豊の国ゆふいん源流太鼓)

## 台湾公演を終えて

豊の国ゆふいん源流太鼓 代表 長谷川 義

2007年に台湾太鼓協会が発足して、一年が経ち協会として初めての合同コンサートが2008年12月に3都市でおこなわれました。

私も台湾太鼓協会の設立記念公演で財団から派遣され、各地で演奏を行った経緯もあり、今回も参加させていただくこととなりました。

今回の公演は、我々源流太鼓と公演地の太鼓チームによる演奏ということでかなりの時間と綿密な打ち合わせが必要でした。

台湾の王理事長から台湾チームを指導して欲しいとのお話もあり、2008年は時間を見つけては台湾に伺ったり、財団の講習会に参加した台湾メンバーの練習を湯布院で見たりの繰り返しで、台湾との絆が深まった年でもありました。

10月には台湾側の要請を受け、財団の大澤局長と共に、公演会場の下見や現地の太鼓チームとの打ち合わせ、太鼓の数、人数、会場の確認等をして万全を期して準備をしてきました。かなり大変ではありましたが、高雄、台中、台北と、おかげ様で台湾各チームと源流との2時間の公演は完璧なまでに無事終演致しました。今回の公演で、台湾太鼓協会の新たなページを刻む事ができ、我々においても太鼓への愛情と感動を再確認致しました。

アメリカ、ブラジル、そして台湾と世界の和太鼓の友との交流ができ改めて太鼓のすばらしさを実感し、逆に私達、日本の太鼓チームも各国の伝統や音楽を体感し、益々日本の和太鼓の良さを更に世界の友に伝えなければならないという使命を感じました。今後はこの経験を生かし切磋琢磨し益々日本太鼓の普及と連盟発展のため努力する覚悟でございます。

### <派遣メンバー>

#### 豊の国ゆふいん源流太鼓

長谷川 義(代表)、河野 勝己、長谷川 準、佐藤 豊、河内 龍太郎、堀江 利彰、穎川 昇平、

#### (財)日本太鼓連盟

浅野 義幸(副会長)、塩見 和子(理事長)、中西 由郎(常務理事)、大澤 和彦(事務局長)、印出 公平(事業課長)

## 台湾公演の感想

穎川 昇平

昨年11月30日から12月8日まで財団主催の台湾公演に、豊の国ゆふいん源流太鼓の一員として参加した。源流太鼓の一員になってまだ一年も経っていない私はもちろん初めてとなる海外公演であり、緊張と不安で頭の中がいっぱいだった。最初の公演は、高雄市内の日本人学校での演奏だった。緊張のあまり、思うように打つ事が出来ず、最悪のスタートだった。

長谷川先生を始め源流太鼓の先輩方から厳しく指導され、そのまま縮こまってしまい翌日の公演も同じ失敗を繰り返して、また厳しく叱られた。間違う事に不安を覚え、自信のない打ち方になり、納得のいく太鼓が打てない日々が続いた。台中の最初の公演でもまた同じ失敗をして、内心日本へ帰りたいという気持ちでいっぱいだった。思いきり打つ事が自分のモットーだったが、緊張に負けて、折角厳しい練習をして体に染みこませたのに何もかも自分の中で出来ないと思い込んでしまった。だが、台湾に来て時間が経つにつれて、身体も慣れ、公演前の練習で、修正が出来、徐々に不安もなくなり、ようやく台中の2回目での公演で自分の頭の中にあった不安や緊張が吹っ切れ、自分らしい太鼓が打てた。少し気持ちが楽になり、ほっとした。これもすべて長谷川先生、源流の先輩方が自分を厳しく指導してくれたおかげだと思う。初めての海外だから大目に見てくれているだろうという間違った考えを見直させてくれた。そして自信をもって一生懸命に打つということも学んだ。これが源流太鼓の凄さだと実感し、自分もメンバーの一員なんだと思い出し、台北の公演では、最初から最後まで死ぬ気で打つと決めていた。間違ったりしても後で叱られるだけと考え、とにかくがむしゃらに打とうと思い、技術も何も無い自分にとってそれが最大のアピールをする場と考え、とにかく必死で打った。台湾最後の公演で一番良い演奏が出来たと思う。最後に良い太鼓が打てて全てが報われたと思うと同時に、太鼓をやっている、源流太鼓の一員で良かった、台湾で演奏する事が出来て本当に良かったと思った。下手でも一生懸命がむしゃらに打てば、変に意識して間違うよりもよほど良いことだと実感した瞬間だった。台湾で、自信を持つこと、練習したら練習した分だけ上手く良い太鼓が打てること、舞台での自分の役割、必死で打つ大切さなど数多くの事を学び、一回り自分が大きくなれたと感じた。このような機会をくださった財団の方々と甘やかさず厳しくしてくれた源流太鼓の先生、先輩方々に本当に感謝し、この経験を日頃の練習、これからの公演に生かしていきたい。源流太鼓をやっている本当に良かった。また太鼓を好きになり、まだまだ成長していきたい。これからも源流太鼓の一員として、がんばりたいと思います。

# 2009年度に向けて各種会議を開催

～理事会・評議員会・運営委員会・技術委員会～

第24回理事会並びに第22回評議員会が3月12日に開催され、次の事項が審議、承認された。

## ＜評議員会＞

1. 「2008年度予算の一部変更について」
2. 「2009年度事業計画及び収支予算について」
3. 「理事選任(補充)について」  
グレアム・フライ駐日英国大使の離任に伴い、後任のディビット・ウォレン大使を理事に選任。

## ＜理事会＞

1. 「2008年度予算の一部変更について」
2. 「2009年度事業計画及び収支予算について」
3. 「規程の一部改正について」

## ＜運営委員会・技術委員会＞

第37回運営委員会・第32回技術委員会が1月15日に開催され、次の事項が審議、承認された。

1. 「2008年度事業の実施と今後の予定について」
  - ① 2008年度事業の実施状況について
  - ② 第11回日本太鼓ジュニアコンクールについて
2. 「2009年度事業の実施について」

昨年と同様に事業を計画した。なお、助成金交付事業は、35事業計画に対し、26事業が承認され残り9事業を追加募集することとなった。

3. 「日本太鼓資格認定制度について」

### ①公認指導員の昇級と推薦について

- ・ 3級公認指導員昇級候補者である講習内検定に参加した土屋哲子氏(静岡)は、全員一致で承認された。
- ・ 大阪府支部より3級公認指導員に推薦のあった2名は、講習会で指導力を確認後、承認することとした。

### ②第4期公認指導員更新研修会について

2009年度に開催予定の全国講習会3会場(兵庫、富山、鹿児島)で実施するほか、東北地区において設定することとなった。

\*東北地区においては全国講習会ではないものの岩手県支部講習会で更新研修会を併せて行うこととなった。

\*助成金事業に関しては、第38回運営委員会を4月1日に書面にて行い、追加で7事業が承認され、計32事業が決定し残り3事業となった。

## ＜技術委員会＞

第33回技術委員会が3月22日にジュニアコンクールに際し開催され、次の事項を検討した。

1. 「日本太鼓ジュニアコンクールについて」

出場団体への講評に関して、各チームの演奏内容等の結果のとりまとめを行った。

## 2009年度日本太鼓助成金交付事業決定のお知らせ

運営委員会において、次の32事業が承認されました。報告書受理後、助成金20万円が交付されます。

### ＜支部講習会＞

- |                                 |                              |
|---------------------------------|------------------------------|
| 5月30・31日(土日)日本太鼓支部講習会(鹿児島県志布志市) | 7月4・5日(土日)台湾太鼓講習会(台湾台北市)     |
| 6月27・28日(土日)日本太鼓支部講習会(岩手県奥州市)   | 9月12・13日(土日)日本太鼓支部講習会(三重県津市) |

### ＜教職員太鼓研修会＞

- |                               |                              |
|-------------------------------|------------------------------|
| 6月14日(日)岐阜県教職員研修会(岐阜県郡上市)     | 8月20日(木)山梨県教職員研修会(山梨県南アルプス市) |
| 7月20日(月・祝)栃木県教職員研修会(栃木県宇都宮市)  | 8月23日(日)長崎県教職員研修会(長崎県波佐見町)   |
| 8月1日(土)群馬県教職員研修会(群馬県甘楽町)      | 9月(未定)長野県教職員研修会(長野県岡谷市)      |
| 8月8日(土)宮城県教職員研修会(宮城県利府町)      | 11月23日(月・祝)宮崎県教職員研修会(宮崎県高鍋町) |
| 8月20・21日(木金)島根県教職員研修会(島根県雲南市) |                              |

### ＜その他＞

- |                                 |                                  |
|---------------------------------|----------------------------------|
| 5月3日(日)第4回日本太鼓秩父祭(埼玉県小鹿野町)      | 10月11日(日)道東ジュニア太鼓フェスティバル(北海道標津町) |
| 5月5日(火・祝)第2回和太鼓フェスティバル(徳島県徳島市)  | 10月25日(日)神々の國太鼓祭り「天鼓」(三重県度会町)    |
| 5月10日(日)第20回石川の太鼓(石川県金沢市)       | 11月1日(日)広島県和太鼓の祭典(広島県庄原市)        |
| 5月17日(日)香川県支部発足記念(香川県宇多津町)      | 11月22日(日)和太鼓コンサート「炎」(北海道旭川市)     |
| 6月6日(土)広島県和太鼓チャリティコンサート(広島県庄原市) | 11月22日(日)みやざき太鼓フェスティバル(宮崎県新富町)   |
| 7月18・19日(土日)雷童サマースクール(石川県穴水町)   | 11月22日(日)東京都支部発足10周年記念公演(東京都大田区) |
| 7月25・26日(土日)和太鼓夏期講習会(大分県由布市)    | 11月22日(日)日本ろう者太鼓同好会(東京都府中市)      |
| 9月20日(日)大阪府日本太鼓フェスティバル(大阪府大阪市)  | 11月28日(土)台湾太鼓フェスティバル(台湾台北市)      |
| 9月20日(日)第4回どんご童(福岡県飯塚市)         | 1月11日(月・祝)全九州ジュニアコンクール(佐賀県佐賀市)   |
| 9月20日(日)東北太鼓フェスティバル(岩手県一関市)     |                                  |

### ★助成金交付事業 3事業を追加募集★

助成金交付事業は、1事業助成金20万円となっております。現在3事業の追加募集を行っております。希望される支部は、財団事務局までお問合せ下さい。

(財)日本太鼓連盟 TEL. 03-6229-5577 FAX. 03-6229-5580 メール:info@nippon-taiko.or.jp

## 事務局だより

### 第4期公認指導員更新研修会の案内

規定により3年毎に行われる公認指導員の第4期更新研修会は、以下のとおり2009年度の日本太鼓全国講習会と岩手県の支部講習会に併せて実施します。対象は2009年3月31日現在、公認指導員の資格を有する199名となります。

- 第1回(第35回日本太鼓全国講習会)6月13日(土)～14日(日) 兵庫県神戸市
- 第2回(第45回日本太鼓支部講習会)6月27日(土)～28日(日) 岩手県奥州市
- 第3回(第36回日本太鼓全国講習会)11月7日(土)～8日(日) 富山県氷見市
- 第4回(第37回日本太鼓全国講習会)2月27日(土)～28日(日) 鹿児島県霧島市

\*なお、この研修会に不参加の場合は、公認指導員としての資格を喪失しますのでご注意ください。

\*更新研修会の回答書をまだ返送されていない方は、お早めに事務局までご返送願います。

(Fax.03-6229-5580)

## 講習会のお知らせ

### 第35回日本太鼓全国講習会(兵庫県神戸市) \*この講習会にあわせて公認指導員の更新研修会を行います。

期日：2009年6月13日(土)・14日(日)

主催：(財)日本太鼓連盟

主管：(財)日本太鼓連盟兵庫県支部

会場：神戸市セミナーハウス(神戸市北区道場町生野字ロクゴ318-2)

講座：

#### ○専門講座

大江戸助六太鼓講座(単式複打法) 小林 正道氏(東京)

尾張新次郎太鼓講座(複式単打法) 安井 富氏(愛知)

締太鼓講座(単式単打法) 渡辺 洋一氏(東京)

#### ○基本講座

総合指導 古屋 邦夫氏(技術委員会委員長)

3級基本講座 安江 信寿氏(1級公認指導員)

4級基本講座 若山 雷門氏(1級公認指導員)

5級基本講座(初心者講座) 景山 道隆氏・松枝 明美氏(共に1級公認指導員)

申込先：(財)日本太鼓連盟兵庫県支部

〒679-4322 兵庫県たつの市新宮町仙正146 事務局長 桂 正静

Tel.0791-75-1989 Fax.0791-75-1985 携帯090-3350-3890

### 第44回日本太鼓支部講習会(鹿児島県志布志市)

期日：2009年5月30日(土)・31日(日)

主催：(財)日本太鼓連盟鹿児島県支部

会場：志布志市有明農村環境改善センター

(鹿児島県志布志市有明町野井倉1756)

講座：基本講座

総合指導 古屋 邦夫氏(技術委員会委員長)

4級基本講座 若山 雷門氏(1級公認指導員)

5級基本講座 松元 和敏氏(1級公認指導員)

申込先：

(財)日本太鼓連盟鹿児島県支部事務局

〒898-0045

鹿児島県枕崎市立神北町456-201

事務局長 平田 寿一

携帯090-2581-7354 Fax.0993-72-8849

### 第45回日本太鼓支部講習会(岩手県奥州市)

期日：2009年6月27日(土)・28日(日)

主催：(財)日本太鼓連盟岩手県支部

会場：流通団地交流センター

(岩手県奥州市水沢区卸町4-5)

講座：基本講座

総合指導 古屋 邦夫氏(技術委員会委員長)

4級基本講座 渡辺徳太郎氏(1級公認指導員)

5級基本講座 鈴木 孝喜氏(1級公認指導員)

申込先：(財)日本太鼓連盟岩手県支部

〒023-0831

岩手県奥州市水沢区姉体町字宿6-5

事務局長 松田 修一

携帯090-7076-7424 Fax.0197-26-5700

\*この講習会にあわせて公認指導員の更新研修会を行います。

\*全ての講習会とも初回の参加者は、5級基本講座を受講して下さい。